



9/26 有限会社田中建材工業が町へ寄付

有限会社田中建材工業(田中慶蔵社長)が創業者である父、故田中慶治さんの意向によりご遺族が1000万円を町に寄付をされました。

田中ひろ子会長は「故人が町に恩返しをしたいと言っていた。町の発展のために使ってもらえたら」とお話されていました。



10/4 かみしほろ塾専門講座 写真講座中級～上級編

写真家の望月久さんと日本旅行写真家協会理事の川名廣義さんを講師に迎え、写真教室中級～上級編が開催され、3名が参加しました。

秋の三国峠やナイタイ高原などを撮影し、写真撮影のポイントを教えていただいたほか、撮影作品の講評もしていただきました。



10/5 ソフトテニス十勝中体連優勝！ 横内さん、長屋さんペア

上士幌中学校2年、長屋真央香さん、横内悠菜さんペアが第41回全十勝中学校秋季ソフトテニス大会にて優勝を果たし、道連中学部強化研修大会兼クリスマスカップ派遣選手選考大会へ出場を決めました。

この日、教育委員会を訪れ、長屋さんは「自分よりも格上の選手にも勝てるよう頑張りたい」と話し、横内さんは「日ごろの練習の成果を発揮して、勝利できれば」と大会への意気込みを語ってくれました。

10/4 十勝スポーツ推進員功労者表彰 細岡浩幸さん

10年以上にわたりスポーツ推進員として地域の社会体育の振興に尽力された、細岡浩幸さんが十勝スポーツ推進員表彰を受章しました。

細岡さんは「10年間、スポーツを盛り上げることを考えて活動してきた。フロアカーリング導入などが印象的な活動でした」とお話をいただきました。



10/5 文化祭の売り上げを寄付 上士幌中学校

上士幌中学校の生徒が社会福祉協議会を訪れ、文化祭の売り上げの一部を寄付しました。これは、北海道胆振東部地震の被災者へ役立ててもらおうと中学校文化祭バザー部門の生徒が企画。

3年生の坂本聖弥さんは「自分たちも被害にあったが、未だ大変な思いをしている人のために役立ててほしい」と話していました。



9/19 長寿をお祝い～敬老会～

9月19日、山村開発センターにて敬老会が開催されました。88歳(米寿)の方、70歳(古稀)の方が参加し、竹中町長のお祝いの言葉や、フラダンス、子ども園の園児による合唱でお祝いをしました。

参加者の皆さんからは「余興など大変心温まるものでした」というコメントが聞かれ楽し時間をすごしていました。

9/18 100歳おめでとう！

牛角政雄(萩ヶ岡)さんが、9月5日に満100歳を迎えられたお祝いとして、竹中町長から祝状と祝金を贈呈いたしました。

9月18日、役場町長室にて行われた贈呈式に、歩いてお見えになられ、とても元気な様子を見せてくれました。



9/25 上士幌中学校竹内さん トランポリン全道大会結果報告

上士幌中学校2年の竹内愛詩^{まこと}さんが、第8回北海道年齢別トランポリン競技選手権大会13～14歳の部にて準優勝を果たし、小堀教育長へ結果を報告しました。

竹内さんは「決勝でいい演技ができました」と大会での感想を話してくれました。



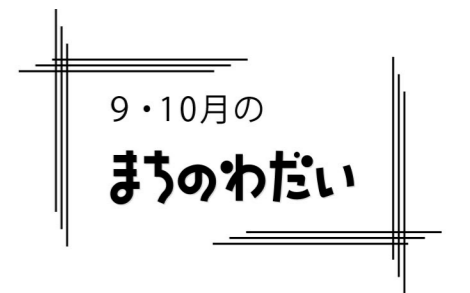
9/25 上士幌中学校男女卓球部 全道大会結果報告

上士幌中学校男女卓球部13名が教育委員会を訪れ、出場した北海道卓球選手権大会と全十勝卓球選手権の結果を小堀教育長へ報告しました。

選手からは「もっとメンタルを強くして次は戦いたい」などの思いを語ってくれました。



9月25日、株式会社川村組(川村文雄代表取締役)が農商工生涯学習まつりへむけて、ふれあい公園横のサックシュオルベツ川の草刈りを無償で実施してくれました。



地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告



TITLE: 最近の活動

記: 地域ブランドデザイン推進員 高野 沙月

秋も深まり、徐々に年の瀬が近づいてきましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか？ 2018年も残りわずかとなり、私が上土幌町にやってきて早くも2年以上が経ち、この2年間で様々な仕事に携わらせていただくことができました。課を問わず仕事をいただくことも多く、毎日、さまざまなデザインを作ってお返ししています。その活動の一部をご報告します。

【スクールバス】先日、町内の小学校・中学校の生徒を対象に、スクールバスのデザインの公募が行われました。

このスクールバスは、上土幌町ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金で購入されるものです。その選定とデザインの調整に携わらせていただきました。どれもそれぞれに個性が発揮されており、どれかに絞るのにたいへん苦勞しました。こちらは10月現在デザインの調整中で、来年には新しいバスがお目見えするかと思います。

【上土幌町交通ターミナルのロゴ】今年オープンした交通ターミナルのロゴをデザインしました。

協力隊の活動も残り1年。やり残すことのないように1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。



▲スクールバス作業風景



▲上土幌町交通ターミナルのロゴ



10/12 スクールバスデザイン表彰

来年度に導入予定のスクールバスデザイン公募の結果、49作品の中から上土幌中学校1年の山口遙さんが最優秀賞に、優秀賞に2年の五十嵐舞桜さん、石川琴さんが選ばれました。

最優秀賞に選ばれた山口さんは「自分のデザインしたバスにみんなが楽しい気持ちで乗ってくれたら」と話してくれました。

10/14 防災訓練を開催～上土幌消防団・16区自主防災組織～

上土幌消防団と16区自主防災組織が合同で、地震災害を想定した訓練を実施しました。

訓練は16区全域を使って行われ、地震発生の際のシェイクアウトから始まり、16区の町民が公園へ避難する途上での状況を、参集した公園にて報告しました。そこで収集した情報を消防団へ伝え、消防団員が火事や倒壊したを想定した建物から救助を行ったほか、本部指揮所として使用した北地区集会所にて炊き出しも実際に行われ、防災意識向上へ努めました。



上土幌高校職場体験レポート

写真、文：上土幌高校2年 佐藤 恭きょう

今回、役場の仕事に興味があり前からやってみようと思っていたので職場体験の場として上土幌町役場を選び、企画財政課でふるさと納税の仕事の手伝いや広報の仕事を経験しました。自分の思ったとは少し違った雰囲気ですが皆さん楽しく優しく仕事を教えてくれました。役場ではいくつかの課に分かれていることを初めて知り、それぞれの課でお互いをサポートしていることに驚きました。

自分は最初みんな怖い顔をしてほとんど喋らずに仕事をしていると思っていたけどイメージとは違ってみんな楽しくやっていて自分もここに就職したいと感じました。一番印象に残っている仕事は、広報の紙面作りです。広報を作るのにあたってのルールやレイアウトなどどのようにしたら読んでもらえるかなど色々考えるのが大変でした。また、広報の取材も印象に残っています。役場なのにこのようなこともするのかと思いました。上土幌町役場の皆さん二日間本当にありがとうございました。



敬老会を取材しました。



他の職場体験をしている生徒の取材をしました。



ふるさと納税の仕事を手伝いました。

感謝状を贈呈



10月4日、北海道胆振東部地震に係る停電の際に町上水道施設へ発電機を無償で設置していただいた川村組(川村文雄代表取締役)、村上土建開発工業株式会社(村上誠代表取締役)、株式会社ドゥテック(澤田伸幸代表取締役)へ竹中町長より感謝状を贈呈しました。



10月11日、有限会社松井経営研究所(松井利夫代表取締役)が本町の起業家育成のため寄付をいただいたことへ、竹中町長から感謝状を贈呈しました。



10月11日、認定こども園園庭内ブランコマットを無償で整備していただいた、植村土建株式会社(植村高愛代表取締役)へ小堀教育長から感謝状を贈呈しました。

川柳

秋麗に涼風と子のくしゃみ浴び
旅に出て結局疲れて明日仕事

石戸光
四児の父

短歌

麦藁帽に顔を覆ひて女ひとり夜明の道をいそぎでゆけり
動き止め立ちとまりしが木ねずみの舗道を一氣に横切り失せり
父に、母、姉、兄、みんな逝き給ふ蜻蛉おとなく増えつつるたり
忙しさを離るることこそ老いの徳時をあやつること楽しけれ
台風が来るかと思えば青空に紅葉の季木々は華やぐ
販売の仕事に慣れてスムーズに紅葉の季木々は華やぐ
台風の通りすぎゆき朝の道路葉の色はさまじままし
秋の日にふれあいまつりはじめての店番をするいらっしやいませと
毎朝のウォーキングの清清し一走り走が元氣の元に
常のごとほえみ堪ふ靈前の写真を見よぐ君逝くは早し 悼 藪根守さん

石松高鈴米米尾 本
川田木木森森野 間
裕理誠 博真よし 栗
子恵也 豊樹弓乃 風



9月22日に上士幌高校の生徒が職場体験実習にきてくれました。そこで、敬老会と職場体験の取材と記事作成をしてもらいました。デジタル一眼初体験だったようですが、のみこみが早く、記事もあっという間に完成。記事はまちのわだいP27に掲載しています。……M

10月6日・7日に大阪・名古屋において、北海道への移住を促進するためのイベント「北海道暮らしフェア」が開催されました。私も助っ人としてお手伝いしてきましたが、予想以上に移住を検討する方が多いことに驚きました。都道府県魅力度ランキングで9年連続1位の北海道ですが、それに相応しい魅力あるまちづくりを行っていきたいものです。…T

平成30年 9 月末現在の人口

男性	2,444人(-3人)
女性	2,573人(0人)
人口	5,017人(-3人)
世帯数	2,543世帯(-3世帯)

平成30年度 ふるさと納税寄付金

9 月分	7,510 件 115,910,523 円
累計	35,183 件 524,182,398 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※10月15日現在

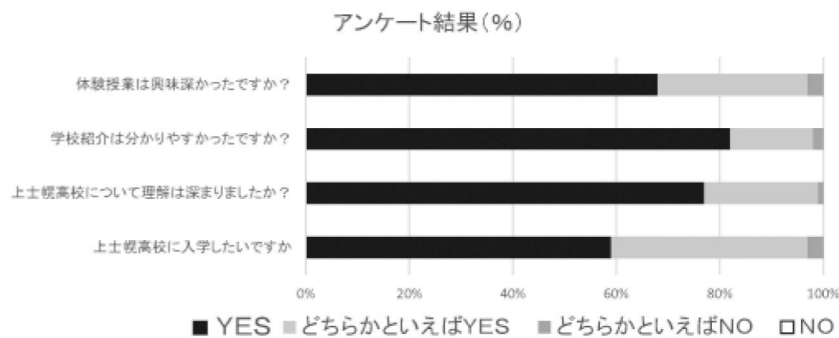
上士幌高校です!

文責:教頭

No. 7
平成30年
10月25日

TITLE:「高校生のたまご」と「人生の大先輩」が上高を訪れて……

9月13日(木)に実施した「1日体験入学」に管内の中学3年生と保護者の方々、合わせて70名の参加がありました。主な内容は、国語・理科・英語・情報に分かれての授業体験、生徒会執行部による学校行事のスライド上映と部活動紹介、そして体育館やグラウンドに分かれての部活動体験です。参加した中学生のアンケート結果は次のとおりです。一人でも多くの中学生が上士幌高校に入学してくれることを心から願っています。



また、9月22日(土)には、上士幌町老人クラブの方々28名を高校にお招きして「異世代交流会」を行いました。今年も熱気球部、吹奏楽部、家庭部の生徒たちがホスト役を務め、熱気球の体験搭乗、吹奏楽のミニコンサート、ふれあい交流ゲーム、小物づくりを楽しんでいただきました。本校生も人をもてなすときの心持ちや態度を学ぶよい機会となりました。



上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

3年振りに入賞しました

文責 横澤 梨乃

私たち新聞局は9月26日~28日に釧路で行われた全道大会に参加し、今回は前年度の雪辱を晴らすことができました。

昨年は十勝で上士幌高校だけが賞をもらうことができず、1人しかいなかった3年生の先輩に賞状を持たせてあげられませんでした。今回は新しい企画「開かずの間」が好評で、3年振りに「特別賞」を受賞できました。1・2年生のみで大変でしたが、皆で頑張ってきてよかったと心から思いました。

釧路では海鮮丼などおいしいご飯をたくさん食べましたが、スパゲティで有名な「泉屋」という店では一人前が2・3人前ほどの量で、食後はとても苦しかったのもいい思い出です。



△釧路市生涯学習センターで記念撮影



△MOO2階での夕食風景です